

● 5/13（水）課題等提出について

【提出日】5月13日（水）

【提出時間】1組 9:30-10:30 2組 10:00-11:00
3組 10:30-11:30 4組 11:00-12:00
5組 11:30-12:30 6組 12:00-13:00
7組 12:30-13:30

【提出場所】生徒昇降口に来校し、クラスごとの回収BOXに提出する。

- 【注意事項】①「提出物一覧」は仙台東高校 HP「3学年臨時休業中のお知らせ④」内を参照してください。提出物の加除訂正もあるので必ず確認してください。
- ②それぞれの提出物には新3年のクラス・番号と氏名を明記してください。
- ③持参する提出物は、角2型封筒（レターパック等の再利用も可）にまとめて入れ、封をし、おもてに新3年のクラス・番号と氏名を明記してください。スタディサポートのマークシートは折り曲げず提出してください。
- ④生徒本人による提出を原則とします。コロナ感染予防の観点から生徒同士で預けて提出してはいけません。諸事情がある場合は昨日のeメッセージの内容に基づき対応してください。
- ⑤指定時間にはクラス担任が提出場所におります。
- ⑥提出後は国から支給のマスクと東高校カレンダーを受け取り、すぐに帰宅することになります。提出場所が3密にならないようご協力ください。

● 今後の予定（5/8（金）15:00 現在 変更がある場合は緊急メールやHPで連絡します。）

- ① 5/14（木）新しい学習課題等の発送（レターパック）
- ② 5/18（月）～22（金）に1回の登校日を検討中
- ③ 5/25（月）～29（金）に1回の登校日を検討中
- ④ 6/1（月）学校再開の予定（登校時間等は後日連絡します。）

● 進路希望調査を行います。

臨時休業中や学校再開後の進路指導活動に活用するため希望調査を行います。5/14 郵送物の中に調査用紙を同封します。5/18からの週に登校日が設定された際に回収します。

● スタディサプリ学校向けサービス（有料・希望者対象）の取り次ぎを始めます。

複数の方からご要望のありました、リクルート社の「スタディサプリ学校向けサービス」の取り次ぎを新3学年でも始めます。新2学年の希望者を対象に提供するものと同じものです。詳しくは仙台東高校 HP「3学年臨時休業中のお知らせ④」内「スタディサプリ案内」をご覧ください。

●連絡事項のアップデート（5/8（金）15:00 現在）

- ① 第1回全統共通テスト模試（自宅受験・5/3実施）
⇒申込んだ人には既に河合塾から問題が送られています。同封された支払い用紙を使ってコンビニ等で受験料を必ず支払い、解答用紙を河合塾に提出すること。
※料金未納・解答未提出の人がいるとの連絡が河合塾からありました。大至急入金・受験を済ませ、解答用紙を河合塾に提出してください。
- ② 第1回全統記述模試（自宅受験・5/10実施）
⇒申込んだ人には河合塾から問題が送られます。必ずコンビニ等で受験料を支払い、解答を河合塾に提出すること。
- ③ 第1回英検 本会場受験について、実施日が6/28(日)に変更になりました。
書店またはインターネットで申し込んだ人は英検HPで日程の確認をしてください。
- ④ GTEC（7/18(土)実施校内受験）⇒申込日を再設定し、後日連絡します。
- ⑤ 第1回看護医療全国模試⇒申し込んだ受験方法（自宅 or 会場）で実施してください。
第2回看護医療全国模試⇒5/14 郵送物に申込書を同封します。
- ⑥ 第1回高校生公務員模擬試験（無料、自宅受験）⇒申込んだ人へ問題を郵送します。
第2回高校生公務員模擬試験（無料、自宅受験）⇒5/14（木）申込締切
4/20 郵送物の中に申込書があるのでそれを使って申し込んでください。
- ⑦ 令和2年度、高校在学中の各種奨学金制度について⇒東高HPに掲載しています。
- ⑧ 令和3年度、大学・短期大学・高等専門学校・専修学校へ進学し、日本学生支援機構（Jasso）の奨学金（予約採用）を検討している人⇒5/14 郵送物に説明資料・申込文書一式を同封しますので、よく読みご検討ください。⇒後日説明会を実施します。
※なお、日本学生支援機構側からも、現在のコロナ情勢を受け、申込み期間の延長の連絡が学校にきておりますのでご安心ください。

●課題が終わっている人は...

本年度の総合学習では、社会の諸問題について知り、探究する活動に取り組みます。
また、小論文や志願理由書、志望動機を書く力を更に高める活動もします。

以下に推薦図書を紹介しますので、図書館や本屋に行けず入手するのが難しい状況ですが、参考にしてください。

<環境>

『異常気象と地球温暖化——未来に何が待っているか』

鬼頭 昭雄(きとう あきお)著 岩波新書 720円+税

「経験したことがない大雨」などの異常気象は自然な変動の現れ IPCC報告書の執筆者が、異常気象と温暖化の関係を解きほぐし、変動する気候の過去・現在・未来を語る。

★★★



『日本人の知らない環境問題——「地球にやさしい」では世界は救えない』

大賀 敏子(おおが としこ)著 SB新書 730円+税

グローバルな視点で環境問題の本質を読み説く 日本と世界とでは環境問題のとらえ方が異なっている。「環境」と「開発」の両方を知り、環境問題の解決策を探っていく。

★★



<国際問題・異文化理解>

『「逆さ地図」で読み解く世界情勢の本質』

松本 利秋(まつもと としあき)著 SB新書 850円+税

世界のホンネがわかる逆地図的視点のススメ 地図の向きを変えると、世界の本当の姿が見えやすくなる。現代で起きている問題や過去から引きずっている問題を俯瞰していく。

★★



『ルポ 差別と貧困の外国人労働者』

安田 浩一(やすだ こういち)著 光文社新書 860円+税

日本にとって外国人労働者はつごうのよい存在であり、企業の繁栄を支え、不況企業の延命に力を貸してきたしかし日本は、彼らを社会の一員として明確に認識したことがあったか。

★★★



<教育>

『日本の教育格差』

橋本 俊詔 (たちばなき としあき) 著 岩波新書 840円+税

所得格差が広がるなか、教育の機会も不平等化している。高学歴をめざす塾や私立学校が隆盛する一方、経済的理由で高校を中退する者なども目立つ。社会と教育の関係を問い直す。

★★★★



<福祉>

『変わる家族と介護』

春日 キスヨ (かすが きすよ) 著 講談社現代新書 720円+税

家族と介護をめぐる状況が大きく変わった。「極端に聞こえるかもしれないが、けっして他人事ではない」家族と介護の問題の数々を、エッセイのかたちで語り解説を加えた一冊。

★★

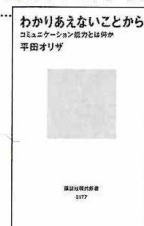


『わかりあえないことから——コミュニケーション能力とは何か』

平田 オリザ (ひらた おりざ) 著 講談社現代新書 740円+税

「コミュニケーション」とは何なのか。近ごろの若者に「コミュニケーション能力がない」というのは、本当なのか。「子どもの気持ちがわからない」というのは、何が問題なのか。

★★

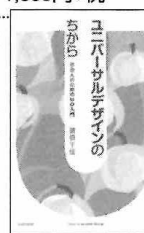


『ユニバーサルデザインのちから——社会人のためのUD入門』

関根 千佳 (せきね ちか) 著 生産性出版 1,500円+税

ユニバーサルデザインはだれもが喜ぶカタチで社会のニーズを顕在化できる。ユニバーサルデザインをわかりやすく解説し、なぜ現代の社会やビジネスに必要なかを紹介する。

★★



<政治・経済>

『ゼロからわかる経済学の思考法』

小島 寛之 (こじま ひろゆき) 著 講談社現代新書 760円+税

経済学の見方を塗り替える魅惑の講義。教科書的解説をいっさい廃し、「経済学って何なんだ?」「お金はなぜ必要か」という疑問から、経済学の本質とロジックを平易に語る。

★★



『ブラック企業——日本を食いつぶす妖怪』

今野 晴貴 (こんの はるき) 著 文春新書 770円+税

若者を使い捨て、日本の未来を奪う。その恐るべき手口とは? 多くの若者の労働相談にかかわってきた著者が「ブラック企業の見分け方」を指南し、社会全体への影響を読み解く。

★★



<情報・メディア>

『知っておきたい 情報社会の安全知識』

坂井 修一 (さかい しゅういち) 著 岩波ジュニア新書 780円+税

コンピュータやインターネットの発展は、高度な情報社会を作り上げる一方、かつてない事件や事故を引き起こす。情報社会をより安心・安全にできる私たちの対策、知識は何か。

★



『クラウドの未来——超集中と超分散の世界』

小池 良次 (こいけ りょうじ) 著 講談社現代新書 740円+税

クラウドの本質とは何か。日本のメーカーやメディアが取るべき、IT革命への対応策とは——クラウドというイノベーションの本当の意味を知ることができる。

★★★★



<科学技術>

『AIの衝撃——人工知能は人類の敵か』

小林 雅一 (こばやし まさかず) 著 講談社現代新書 800円+税

自律的進化を始めた人工知能「AI」。次世代ロボットは人間社会をどのように変えるのか。自動運転車、ドローン、ロボット兵器——。人間の存在価値が問われる時代の必読書。

★★



『遺伝子の不都合な真実——すべての能力は遺伝である』

安藤 寿康 (あんどう じゅこう) 著 ちくま新書 800円+税

人の「能力」の正体を徹底分析。勉強ができるのは生まれつき? 才能は遺伝のせい? 能力の遺伝の正体を解きほぐしながら、教育と人間の多様性を考える。

★★



<医療・看護>

『ルポ 看護の質——患者の命は守られるのか』

小林 美希 (こばやし みき) 著 岩波新書 840円+税

悲鳴を上げる看護現場からの生々しいレポート。深刻な人手不足のなか、入院期間短縮化と在宅化が急速に推進されている。本来の看護とは何か、真のチーム医療とは何かを問う。

★★



『感染症と文明——共生への道』

山本 太郎 (やまもと たろう) 著 岩波新書 720円+税

感染症との闘いは人類に勝利をもたらすか。防疫対策による封じ込めは、大きな悲劇の準備にすぎないのか。共生の道はあるのか。感染症と人類の関係を文明発祥にさかのぼって考察。

★★★★

